

おさめがわ村

No
151

平成30年2月

みんなの言義会だより

題字：青生野小学校
5年 長井 友莉花さん



12月定例会

公有財産土地購入費など可決!

12月定例議会 …………… 2~5

政策提言を村当局に提出 … 6~7

一般質問に6議員登壇 …… 8~14

村民の広場 …………… 15

ふるさと鮫川への想い …… 16

青生野小学校
ありがとう~~~!!

信頼される議会を目指して

村議会議長 星 一 彌



明けましておめでとうございます。
います。

村民の皆様におかれましては、平成30年の初春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また旧年中、村議会に賜りました格別のご理解とご協力に対し厚く御礼申し上げます。

私たち議員が村民の皆様の附託を受け、村政に取り組み始めてから3年が経過しようとしています。これまで以上に新たな感覚とビジョンを持って、住みよい村づくりのため引き続き努力して参りたいと決意を新たにしております。

昨年を振り返りますと、全国規模による異常気象に見舞われた一年でありました。本村を含む東北太平洋側では夏に記録的な日照不足と低温が

続き、村民の皆様は農作物の管理に大変なご苦労をされたことと存じます。また、九州地方では7月の九州北部豪雨、9月の台風18号と、立て続けに記録的な大雨が降ったことにより甚大な被害をもたらしました。異常気象や自然災害に対する備えの重要性を再認識したところであります。

鮫川村議会では、これまでも議会改革に取り組んで参りましたが、6月定例議会において「議会制度改革の潮流の中、近年特に議員に求められるのは政策立案能力の向上であり、政策として率先かつ直接的に立案提言し、自らが政策を発信することは二元代表制として一翼を担う議会としての本質的な機能である。その機能の発揮と本来の役割を果たすための委員会の設置」を決議し、議会政策提言検討特別委員会を設置しました。本特別委員会では、各委員から提出された政策提言をもとに議論を重ね、11月には結論に至り、定住促進対策・村

有施設のあり方・雇用の場の確保の3項目について、村に対し提言書の提出を行いました。また、議会モニタリングを導入して2期目をむかえ、10月に開催した「議会モニタリングと議員の懇談会」においては、5名のモニタリングから議会に対する要望・提言・意見等や、村や各地域で課題となつていくことについての意見を拝聴いたしました。

議会モニタリングを始めとする村民の皆様からいただいた多くの意見は、執行機関の調査機能、調査研究、政策の立案・提言等といった議会活動の中にしつかりと反映させ、豊かで住みよい活力ある村づくりに活かしてまいりますので、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様にとりまして新しい年が、夢と希望に満ちた素晴らしい年になりますよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

認定 こども園で教育・保育が一体的に

12月補正予算の状況

会計別		補正額	補正後の予算額	
一般会計		1億5399万5千円増	34億5000万5千円	
特別会計	国保	事業勘定	122万3千円増	5億6719万5千円
		直診勘定	0円	7112万8千円
	簡易水道事業	0円	1億2842万円	
	村営バス事業	0円	970万1千円	
	介護保険	361万2千円増	4億7146万9千円	
	交流施設	60万円増	1523万4千円	
	学校給食	8万5千円増	9866万1千円	
	後期高齢者	51万6千円減	3593万9千円	
	合計		1億5899万9千円増	48億8338万7千円

補正が行われた9会計。国保 直診勘定、簡易水道事業、村営バス事業会計の総額は変わらず内容が変更された。

12月補正予算の主な事業

歳出	
財産管理費 (公共施設等駐車場用地購入)	1300万円追加
社会福祉総務費 (繰出金 国保特別会計事業勘定)	114万6千円追加
農村振興費 (産地パワーアップ事業費)	662万円追加
分譲地整備費 (旧泰斗解体工事)	3500万円追加
災害対策費 (住宅背後地災害対策支援事業補助金)	300万円追加
歳入	
地方交付税	9300万円追加
農林水産業費県補助金 (農業費補助金)	887万円追加

12月定例会の あらまし

12月定例会が12月13日から15日まで3日間の会期で開催されました。第1日目に、一般質問を行い6議員が家屋裏の急傾斜対応策や青生野牧野のメガソーラーの行方などをとりあげ、村政をたどりました。また、一般会計補正予算の専決処分承認後、鮫川村認定こども園条例の制定や国民健康保険条例の一部改正を含む条例9件、平成29年度補正予算9件、工事請負契約の変更と締結各1件の提案理由の説明がありました。

第2日目に、総務文教常任委員会と

負契約の変更と締結を、原案のとおり可決し、閉会しました。



大樂勝弘 村長

産業厚生常任委員会の合同議案調査を開き、議案を審議しました。最終日に、審議した条例、補正予算、工事請

- ◆ 請願者 東白川郡森林組合 代表理事組合長 富永 盛彦
- ◆ 紹介議員 前田 雅秀
- ◆ 附託 産業厚生常任委員会
- ◆ 審査の結果 採択
- ◆ 本会議 全員賛成で可決

森林環境税(仮称)早期実現に関する意見書の提出を求める請願書

請願を可決しました

鮫川村認定こども園条例 鮫川村幼稚園及び鮫川村保育園を幼保連携型認定こども園へ移行して設置するため、認定こども園法等に基づき条例を制定するもの。

条例改正しました



真剣な眼差しでだんごを挿す園児

定住促進住宅建設工事契約など

議案調査



議案の提案理由の説明を受ける合同常任委員会の議案調査

認定こども園条例制定他条例、公有財産購入費、農業パワーアップ補助金、旧泰斗工場解体工事、などの各議案などを調査
12月定例議会には、村から条例、補正予算、工事契約、請願合わせて22件の議案が提出され、各常任委員会は担当課別に議案を調査し、総務文教委員会と産業厚生委員会の合同調査により担当課に説明を求めました。

問 産地パワーアップ補助金622万円は
答 農業法人へのコンバインの補助金

問 農産物電気柵の予算増は
答 電気柵55件の申請で(補助金5万円上限)予算増

産業厚生常任委員会

問 鮫川村認定こども園条例制定
答 幼稚園、保育園を幼保連携型認定こども園に移行するため

問 農業次世代人材投資交付金225万円は
答 農業後継者の45歳未満の夫婦への交付金

問 建設機械借り上げ料137万円
答 冬期間の除雪ローダーの借り上げ料

問 住宅背後地災害対策補助金300万円の内訳は
答 宅地の背後の急傾斜の災害対策補助金(1件100万円上限)

問 青生野小学校の記念品は
答 統合する児童の運動着など

総務文教常任委員会

問 役場庁舎仕切り板は
答 旧農林課の仕切りパーテーション設置工事

問 交流施設(ほととはうす)の60万円の収入増は
答 施設利用収入が当初より増加が見込まれるため

問 公共施設等駐車場購入費内訳は
答 赤坂中野新宿地内の杉山氏所有の宅地他を駐車場用地として1300万円で購入(宅地1024㎡、駐車場2427㎡、畑629㎡)



冬期間借り上げる除雪ローダー



条例が制定された認定こども園



家屋裏の災害傾斜地

一般会計 補正 予算

平成29年度一般会計予算額32億9600万円に対して1億5399万5千円を増額し、総額34億5000万5千円とし全議員が可決承認しました。また条例の制定については質疑を経て賛成多数で承認されました。

宅地確保の整備と公営駐車場確保策など

旧泰斗工場解体費他を認める



駐車場用地として杉山邸の用地買収
1300万円
(宅地1024㎡、駐車場2427㎡、畑629㎡)



旧泰斗工業建屋解体工事
3500万円

条例制定・ 改正案への質疑

問 北條利雄議員

認定こども園に移行するにあたり、村長と教育長の決意を伺う。

答 村長

認定こども園は3歳児以降が幼稚園になり教育も一緒に進める。三つ子の魂は百まで。先生方の理解のもとに教育したい。

答 教育長

子どもが持っている力、能力など、内から湧き出るものを100%発揮できるようにする。また地域や保護者の皆さんに理解頂き、環境づくりに努める。

問 前田武久議員

公営住宅の条例改正で公営住宅の明け渡しを請求する収入基準の追加の説明があったが、算定基準の試算がされているのか。

答 地域整備課長

公営住宅法で村が算定基準を決めてもいとなんでいるが、精査のうえ検討中である。

問 前田武久議員

施行日はいつからか。算定基準がそのままに決議しろとはおかしいのではないか。

答 地域整備課長

入居者が認知症や知的障害で収入の報告ができない場合に村が家賃を決定できる条例改正である。基準は精査中である。

村の未来を
見据えて

されるよう強く求める!



村議会は公正性、透明性を高めながら「村民に信頼される議会」や「政策立案のできる議会」を目指すとして、昨年6月に「議会政策提言検討特別委員会」を設立し、村の現状を踏まえながら検討を重ねてきました。

各議員からは「子育て支援」「若者の定住」「就学支援」「観光用地取得」「景観形成」「コミュニティ施設の整備支援」などの具体的な施策が提案されました。

特別委員会はこれらの意見を提言書としてまとめ、議長に答申し、議長からは村長に提出されました。今後はこれらの提言に対して、村当局がどのように受け止めて政策に反映させたか・を検証評価をすることとしています。

定住促進策、雇用の場の確保 村有施設の有効活用に努めよ!

2. 保育料の無料化、義務教育に関わる運動着、給食費等の無料化を実現すること
3. 交通弱者（高齢者、高校生等）の解消、買い物困難者や医療通院対策として制度改善と利用拡大を図ること
4. 高齢者及び移住者世帯への除草、除雪、排雪対策の充実。行政区等への除雪機購入支援、コミュニティ施設へのバリアフリー、トイレ改修の対策を充実すること
5. 若者の出会いの場づくりに積極的に取り組むとともに、結婚祝い金、出産祝い金、仲人祝い金の増額を実現化すること
6. 福祉、子育て、住宅、除雪、移住及び産業振興等、村が行う支援を全て網羅した（仮称）「村民生活支援ガイドブック」を作成すること

政策 提言

村づくりに反映

提言 2 村有施設のあり方

1. 施設の現状を把握、整理・分析し、住民参加のもと、村有施設の総合管理計画を策定すること
2. 建設の際は、総合計画との整合性をとり「村づくり」の大きな視点で計画的に進めること
3. 施設の機能と役割を明確にし、利用者の利便性や安全性、機能性を重視するとともに、複合化すること
4. 保有総数の圧縮と耐震補強可能施設を明示すること
5. 施設重視から機能優先への転換可能施設と多機能化・複合化の実施計画を明示すること
6. 村施設（さざり荘等）の運用改善と再利用計画を明示すること
7. 再生のための村有施設の更新費用の試算（維持管理費含む）と財源確保並び返済計画を明示すること
8. 計画策定までの村民参加の道筋を明示すること



村長に提言書を手渡す、星一彌議長と北條利雄特別委員長

提言 3 雇用の場の確保

1. 企業誘致を強化、継続すること
2. 人材育成に努め、起業の支援に取り組むこと
3. 既存事業所に対する支援と育成につとめること
4. 既存施設（空き校舎等）活用による農業研修生等の受け入れを図ること

提言 1 定住促進対策

1. 子育て世代の方や村外から定住する方が、村内に住宅を新築・購入・リフォームする場合に、経済的な負担を軽減し、住宅取得の促進と定住人口の拡大を実現すること
- ① 移住定住促進奨励事業
 - ② 住宅建築支援整備事業
 - ③ 土地住宅取得支援事業
 - ④ 住宅改修（リフォーム）支援事業
 - ⑤ 住宅無償供与事業

議員 6人が登壇 スバリ!! 村政を問う!



(北條 佐弥さん)

北條 利雄 議員 P9

- ① 平成30年度の施策方針と予算
- ② 新地方公会計制度導入と活用
- ③ 国保データヘルス計画の課題と改善
- ④ 学校統合と記録の保存



(円谷 翔さん)

堀川 照夫 議員 P12

- ① 観光景勝地、江竜田の滝の環境整備
- ② 青生野のメガソーラー(太陽光発電)の行方



(森 あいらさん)

宗田 雅之 議員 P10

- ① 人口減少策の進捗状況
- ② 人材雇用による修明高校の存続策



(江田 紗羽さん)

関根 政雄 議員 P13

- ① スクールバスの安全走行策
- ② 公道筋の環境整備と原材料支給の拡大



(湯座 愛斗さん)

関根 英也 議員 P11

- ① 家屋裏の急傾斜対応策



(矢吹 颯唯さん)

前田 武久 議員 P14

- ① 公営住宅の今後の住宅政策

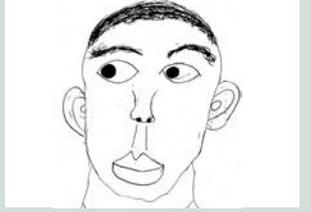
出席議員



遠藤 貴人 議員
(水戸 愛来さん)



京條 英征 議員
(齋藤 幸恵さん)



前田 雅秀 議員
(高木 沙綾さん)

にがお絵は
鮫川小学校の
元気な3年生に
描いていただき
ました

議会の進行



星 一彌 議長
(根本 水翔さん)

答弁者



大樂 勝弘 村長
(渡辺 美悠さん)



奥貫 洋 教育長
(佐川 祐斗さん)

出席者



白坂 利幸 副村長
(芳賀 康大さん)